



TEAM NEXT  
YONEZAWA

## 福祉車両に想いをのせて 介護にやさしい未来をつくる

身体に不自由を感じる人や高齢者が使いやすいように工夫が施された福祉車両。荷室に車いす用リフトやスロープを備えた「車いす移動車」、手や足だけで運転ができる補助装置が取り付けられた「自操式車両」など様々な種類があり、自家用車としても需要が増えています。

県内初の福祉車両専門店としてオープンした「らぶれす」は、代車を含めて20台前後の福祉車両を常時取り揃え、車両の販売や修理、メンテナンスなどを行っています。「14年前、家業の自動車販売店を継ぎました。高齢化が進む中、自分たちにできることは何かと思い、福祉車両に特化した専門店を立ち上げました」と鎌水さんは振り返ります。

今年1月、鎌水さんは旧友の新野さんを店長に迎え、「らぶれす」を開店。新野さんは専門知識の習得に励み、日本福祉車輛協会が認定するインストラクターの資格を取得しました。これまで山形県や福島県などで介護施設向けの講習会を開催し、装置の正しい使用法や安全な送迎方法などを広く周知しています。「県内でも福祉車両による事故が起こっています。基本的にどこへでも出張しますので、安全運転講習を受講し、事故防止に努めて欲しいです」と新野さんは話します。

福祉車両を修理する場合、代車には料金がかかることが多い中、「らぶれす」では無料の福祉車両代車を提供しています。「皆さんが当たり前と思っていることを変えていきたいです。米沢市には介護にやさしいまちになって欲しい」と鎌水さん。新野さんは「将来的には自社で特殊な改造も行えるようにしたいです。要望には一生懸命向き合いますのでまずは相談いただきたい」と語ります。

### 福祉車両の販売・リース・修理などを行う 福祉車両専門店らぶれす (大字川井)

平成31年1月設立。代表取締役の鎌水伸一さん(写真左)、店長の新野勝さん(写真右)を含む4人で、やみずしんいち にいのみさる 専門店ならではのノウハウを元に福祉車両に関するサービスを提供。



車いす用リフトが付いた車両

### 「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、産品だけではなくサービス・観光・文化・行政など、様々な領域の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。(10月14日現在、147の企業・団体・個人が登録)

